

平成 24 年度第 2 回大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会議事概要

1. 日 時 平成 24 年 6 月 26 日 (火) 14 時 00 分～17 時 15 分
2. 場 所 大阪大学附属図書館総合図書館 (6 階) 研修室
3. 出席者 (敬称略、順不同)

大阪大学附属図書館	家住 久子
同志社大学図書館	原 健治
神戸大学附属図書館	土屋 祥子
京都産業大学図書館	真部 理恵
京都府立医科大学附属図書館	枚田 眞紀子
大阪工業大学図書館	田村 俊明
近畿大学中央図書館	鹿田 昌司
奈良県立医科大学附属図書館	鈴木 孝明
関西福祉科学大学図書館	田原 里香子
京都大学人間・環境学研究所図書館	塩野 真弓
(オブザーバー)	
大阪大学附属図書館	奥田 正義

4. 配付資料

- | | |
|------|--------------------------------------|
| 資料 1 | 開催通知 |
| 資料 2 | 平成 24 年度第 1 回能力開発専門委員会議事録 (案) p. 2-6 |
| 資料 3 | 平成 24 年度能力開発専門委員会開催日程検討資料 p. 7-8 |
| 資料 4 | 平成 24 年度能力開発専門委員会 委員一覧 p. 9 |
| 資料 5 | 平成 24 年度「初任者研修」について |
| 5-1 | 研修当日までのスケジュール p. 10-11 |
| 5-2 | 役割分担表 p. 12 |
| 5-3 | 受講者名簿 (+グループ分け) p.13-14 |
| 5-4 | 座席表 p. 15 |
| 5-5 | 研修会当日の PC&インターネット使用について p. 16 |
| 5-6 | 講師・主催者一覧表 p. 17 |
| 5-7 | 収支リスト p. 18-19 |
| 5-8 | 研修会当日講師・委員行動一覧表 p. 20-21 |
| 5-9 | 司会原稿 (案) p. 22-28 |
| 5-10 | アイスブレイクについて p. 29-30 |
| 5-11 | 情報交換会について p. 31-32 |

- 5-12 広報・掲示物作成案 p. 33
- 5-13 事務局預かり物品明細 p. 34
- 5-14 平成 23 年度「中級研修」の反省 p. 35-50
- 資料 6 平成 24 年度初任者研修 関係書類【確定】
- 6-1 申込者が記入した記述の一覧表 p. 51-67
- 資料 7 加盟館以外からの研修参加希望取扱い原則（運営委員会審議結果） p. 68

5. 議 事

1) 能力開発専門委員会事務局について

能力開発専門委員会事務局は、引き続き神戸大学が担当することが確認された。ついで前回議事概要（案）の確認が行われ、承認された。

2) 各委員の任期について

各委員の任期につき、資料 4 に基づき確認を行った。鹿田委員、枚田委員、田村委員の任期がそれぞれ 2 年（平成 26 年 5 月まで）であることが確認された。

3) 平成 24 年度「初任者研修」の実施準備について

6 月 28 日・29 日に開催される「初任者研修」について、配付資料に基づき確認を行った。

① 研修配付資料について

- ・運営委員長の原稿確認において、賛助会員リストと有料広告掲載について、並び順を明確にしてほしいとの指示があったため、原稿を修正した。また次回から運営委員長の原稿確認は廃止の方向で検討いただきたいとの要請があったことが、土屋主査から報告された。
- ・資料印刷後に参加者が 2 名追加となり、名簿の変更があったため、名簿（資料 p. 2-3）の修正版を別途印刷し、当日配付することとなった。
- ・今回、研修参加者が例年より多かったため、冊子体資料の事務局保存分が足りなくなることが危惧された。次回以降も参加者が多い場合は部数を事前に検討する必要があることが話し合われた。
- ・2 日目の座席表（: ワークショップの班別）は配付せず、入り口 2 箇所に掲示し、別途パワーポイントで前に映すこととなった。
- ・食堂マップ、アンケート用紙を当日配付することが確認された。
- ・栃谷運営委員長・原田講師の発表について、配付資料の有無を土屋主査・鈴木委員がそれぞれ確認することになった。配付資料があれば冊子体資料と同数印刷することが確認された。

② 機器について

- ・記録用のカメラ、IC レコーダーについては、大阪大学が準備することが確認された。
- ・会場備付の講師用の PC にあらかじめ初任者研修のフォルダを作り、印刷版スライドを全員分入れておくことが確認された。発表用スライドを別に持参する講師もいるため、当日 USB からデスクトップにコピーする等適宜講師に行ってもらうことになった。

③ アイスブレイクについて

- ・専門委員も自己紹介に参加することが確認された。専門委員は各担当のグループ（1：土屋、2：家住、3：真部、4：枚田、5：鈴木、6：鹿田、7：田村、8：塩野）に入り、講師がもし到着していればその場で適当なグループに入っていたことになる。
- ・じゃんけん役を真部委員、じゃんけんの見本の相手役を枚田委員が行うことになった。

④ 情報交換会について

- ・情報交換会で行うゲームについて、田原委員より説明があった。提案された 2 種類のゲームのうち、ビンゴゲームを行うことが確認された。ビンゴ用紙は会場入り口で配付することになった。
- ・閉会の挨拶を京都大学附属図書館の相原運営委員にお願いすることになり、その依頼を土屋主査が行うことになった。
- ・情報交換会参加者は 17:10 に図書館玄関前に集合、委員が会場「宙」まで案内することが確認された。
- ・代金を情報交換会終了後に支払うことが確認された。

⑤ その他

- ・専門委員は、28日は9時、29日は9時15分までに集合することが確認された。
- ・6階研修室を当日委員・講師の控室として使用することが確認された。
- ・受講生への事務連絡を資料確認の直後に行うこととした。1日目終了前の事務連絡の際に、2日目が閉館日であること、通用口から入ることをアナウンスすることとなった。
- ・正面玄関の場所を指示するため、東側玄関に掲示物を1つ増やすこととなった。
- ・収支リストについて、賛助会員の研修参加費が追加されることが確認された。
- ・弁当代を29日に2日分まとめて支払うことが確認された。
- ・専門委員は昼休みを交替でとり、会場に常に専門委員がいるように配慮するこ

とが確認された。

- ・講師謝金の表書について塩野委員が確認しておくことになった。
- ・アンケートの集計は、Web サイト掲載のものになって鹿田委員が行うことが確認された。
- ・ワークショップ不参加の受講者には、2日目の席について1日目受付時に案内することとなった。

4) 会場設営・資料準備

次の準備を行った。

- ・研修資料を受講者のテーブルに置いた。
- ・アイスブレイク、情報交換会の景品の作成を行った。それぞれ6人分用意した。
- ・会場と控室の設営を行った。
- ・受講生が持参する各大学広報資料につき、展示用と配布用の設置場所を設け、それぞれに大学名プレートを設置した。
- ・受付の机を準備した。50音順の受講者名簿を2枚用意した。
- ・受付横に机を1台置き、その上に50音順に名札を設置した。受付後、受講生に各自でとってもらうことにした。
- ・グループワークで使用するホワイトボードを2台用意した。
- ・アンケート回収用の箱を2つ用意した。
- ・グループワーク用の文房具は以下の通り準備した。
 - マジック 12色セット×12箱
 - 模造紙 4枚入り×10本 (各班3枚+予備)
 - 付箋 4色×6個 (各班2個)

5) 第1回運営委員会報告

土屋主査より第1回運営委員会について下記の報告があった。

- ・外部資金担当より個人賛助会員年会費、有料広告掲載料を減額することが提案され、了承された。
- ・講師謝礼額について規定を整備し、金額を改定する方向で検討がすすんでいる。

6) 第3回能力開発専門委員会の日程について

7月26日(木)に大阪大学附属図書館総合図書館(6階) 研修室で行うこととなった。

以上